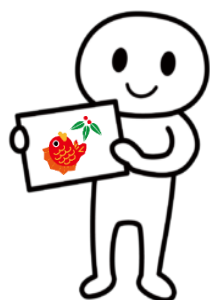


ふれあい通信“かんがり”ボランティア募集

はがき1枚からできる ボランティア

① 暑中見舞いはがき・年賀状を

書く！



② みなとボランティアセンターに

送る！



③ 区内在住の「はがき」を希望する高齢者に

届く！



みなさんのあたたかい心のこもった暑中見舞い・年賀状をお待ちしております。

※「暑中見舞い・年賀状」の送付方法など、詳しくは次のページをご覧ください。

ふれあい通信“かんがり”とは、ひとり暮らし高齢者へ暑中見舞い・年賀状を贈るボランティア活動です。

“かんがり”とは、港区出身の荻原井泉水(俳人)さんが著書の中で、日の出の色を「くほんのり」というよりもっと明るく、くこんがり」というほど熱くはない、東の空に赤みのかかるその微妙な色合いを“かんがり”という新語で表現しました。

この活動を始めた時、その言葉の意味が「温度」・「明るさ」・「距離」をも伝えられる言葉と感じ、ふれあい通信“かんがり”と名付けました。

ボランティアに支えられている、この活動にあなたも参加してみませんか。
あなたの参加をお待ちしています。

※「はがき」の送付を行うにあたり、港区より提供を受けた個人情報には当事業にのみ利用させていただきます。

◆暑中見舞い・年賀状の送り方 ◆

- ① 官製はがき・年賀はがき、または切手(85円)を貼った「はがき」を使用して下さい。
(宛名面にお便りを書く「はがき」は使わないで下さい)
- ② 宛名面には何も書かないで下さい。
(後日、「かんがり」の説明の印刷や、ボランティアによる宛名書きを行う為)
- ③ お便りを書く面に、暑中見舞いや年賀のあいさつとメッセージやイラスト等を書いて下さい。
※ あなたのお名前は書いて頂いても結構ですが住所は書かないでください。
※ 文章は手書きの方が喜ばれますが、印刷等でもかまいません。

【書き方例】



- ④ 鉛筆や、こすると消えるペンは使用しないでください。
- ⑤ 完成した「はがき」をあなたの住所・氏名を明記した封筒に入れて、ご案内する締切日までに下記へお送りください。

【宛先】

〒106-0032 港区六本木 5-16-45 港区麻布地区総合支所 2階
港区社会福祉協議会 ボランティア・地域活動支援係
「かんがり」担当

※受領証が必要な場合は、その旨お知らせください。

【問い合わせ】 港区社会福祉協議会 ボランティア・地域活動支援係
“かんがり”担当

電話 (6230) 0284 FAX (6230) 0285